

隣保館だより

第430号

2022年 4月号

発行◎九重町隣保館

大分県玖珠郡九重町大字右田3088-2

TEL: 0973-76-2468 FAX: 0973-76-2446



九重町隣保館

こう りゅう
交 流

ひと ひと であ
人と人が 出会う

ひと ひと かと
人と人が 語る

こころ こころ こうりゅう
心と心の交流が

えがお しあわ はこ
笑顔と幸せを運ぶ

じんけん やかた
人権の館

あなたのそばに隣保館
りんぼかん

LGBTQ+ (エルジービーティーキュープラス) について知っていますか？

LGBTQ+とは

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの頭文字を並べた言葉で、「性的マイノリティ (セクシャルマイノリティ)」の総称のひとつです。最近では、より多様で包括的な意味合いを持たせるために「+」をつけることもあります。

セクシュアリティについて

セクシュアリティとは人間の「性の在り方」全般のことです。これは一人一人違う、多様なもので個人の尊厳にかかわる大切なものです。セクシュアリティは①性自認・性同一性②生物学的性③性的指向④性表現の4つの要素を軸に考えることができます。

LGBTQ+の生きづらさの原因

社会の仕組みがLGBTQ+の存在を想定せずにつくられているため、自分の性別に違和感を持たず、異性(だけ)が好きな人しかいないという前提が広く共有されています。そういった現状の中で、疎外感を感じながら生きている当事者も少なくありません。

LGBTQ+は「いない」のではなく「見えていない」だけ

LGBTQ+に関する認知度は少しずつ広がりを見せている一方、自分の身近にはいないと感じている人も多いのではないのでしょうか。LGBTQ+を含む性的マイノリティの割合は、左利きの人とほぼ同じだと言われています。自分の周りにはいないと思っても、それは気づいていないだけかもしれません。見えないこと、見ようとしないこと、知らないことは無意識のうちに偏見や差別を生む要因の一つになっています。

すべての人が個人として尊重されるよう、多様な生き方を認め合い、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に向けて、私たち一人一人が多様な性のあり方についての理解を深めていく必要があります。

LGBTQ+

- L … レズビアン (性自認が女性で、好きになる対象が女性の人)
- G … ゲイ (性自認が男性で、好きになる対象が男性の人)
- B … バイセクシュアル (好きになる対象が男性・女性両方の人)
- T … トランスジェンダー (生まれた時に割り当てられた性別と性自認が異なる人)
- Q … クエスチョニング (性自認や性的指向が明確でない人・性の在り方を決めたくない人)
- + … プラス (LGBTQ以外にもさまざまな性の在り方があることを踏まえた包括性を意味する)

セクシュアリティの4つの要素

(1)性自認・性同一性 (こころの性)

自分をどのような性別と捉えるかという内的な感じ方のこと。

(2)生物学的性 (からだの性)

性染色体、性腺、内性器、外性器などに見られる生物学的な特徴によるもの。

(3)性的指向 (好きになる性)

どの性別に恋愛感情や性的な関心が向くのかということ。

(4)性表現 (表現する性)

言葉遣い・服・振る舞いなど、外見的に表れる性別のこと。

あなたのそばの隣保館 ◆隣保館は身近な相談窓口です◆

九重町隣保館は年間を通じて下記のような事業を実施します。

- 相談事業 人権相談 毎週月・木曜日 9:00~16:00まで
- 啓発・広報事業 人権学習や隣保館だより、人権DVD・本の貸し出しも行います。
- 地域福祉事業 隣保館ハッスルシルバーズ（デイサービス）を行っています。
- 地域交流事業 生け花教室・編み物教室・歌声サロン・パワーアップ教室・パソコン教室
- 貸館事業 文化活動等のグループ活動や話し合いなど、事前に申し込みをいただければ利用することができます。

九重町隣保館人権学習会について

九重町隣保館では、年間4回の人権学習会を開催しています。
人権課題にすべての人が関係する以上、わたし達は人権について学ぶ必要があります。
2022年度の「九重町隣保館人権学習会」は、次の人権課題について年4回開催します。
部落差別をはじめとした、あらゆる人権課題について学習し、自らの人権感覚を磨いていきましょう。
みなさんの参加をお待ちしています。

5月18日(水) 19:00
テーマ「性的少数者をめぐる人権」

9月14日(水) 19:00
テーマ「部落差別」

11月16日(水) 19:00
テーマ「障がい者の人権」

2023年2月15日(水) 19:00
テーマ「女性の人権」

2022年度 九重町隣保館 テーマ

学び・気づき・広げる

人権の“わ”

～水平社宣言100年の想い～

1922年3月3日、被差別部落の人々の解放をめざして設立された「全国水平社」の創立大会で「水平社創立宣言（水平社宣言）」が読み上げられました。水平社宣言は部落差別からの解放だけでなくあらゆる差別からの解放をめざしていることから、日本で最初の人権宣言ともいわれています。

水平社宣言から100年後の今は、宣言がめざしたあらゆる差別を許さず、誰もが一人の人間として尊重される社会になっているのでしょうか？

以前は見過ごされていた、様々なハラスメントが人権問題として認識されるようになったことを考えると、社会のあらゆる場面で人権尊重の意識が高まっているとも言えます。その一方、インターネットやSNS上での誹謗中傷、ヘイトスピーチ、性のあり方についての差別や偏見、新型コロナウイルスに関する人権侵害など、新たな人権問題が発生しています。こうした状況を考えると、部落差別に限らず、ある日突然、差別の被害者や加害者となる可能性は誰にとってもあるといえます。

差別をなくしていくためには、人権について学び、気づき、広げることが大切です。『わ』については、様々な捉え方があります。平和の「和」（おだやか、のどか、争わない）、対話の「話」（はなしをする）、人と人のつながりを表す「輪」と捉える方もあるかもしれません。どのような字を当てはめるかは自由です。

今は100年前とは違い、多くの人が自由に意見を交わせる時代です。こうした時代だからこそ、水平社宣言に込められた当時の人々の願いに思いをはせ、全ての人の人権が尊重される豊かな社会をつくっていくことが必要なことから、テーマとして設定しました。

新任のごあいさつ

皆様には、平素より隣保館の運営及び事業の推進に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度隣保館長を拝命し、2012年以来、9年ぶりに隣保館での勤務となります。世界的なコロナウイルス蔓延やロシアによるウクライナ侵攻など、混とんとした時代において、人が人として生きていく権利について、深く考える機会をいただいたと感じており、一生懸命に取り組んでまいります。

隣保館の業務等につきましては、コロナ禍の状況において、集うことが困難なこともございますが、様々な工夫をもって、地域社会全体の住民福祉の向上や、人権啓発の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、各種相談事業や人権課題解決のため、経験豊かなスタッフと共に取り組んでまいります。

誰もが気軽に立ち寄り、相談できる隣保館づくりを目指しておりますので、いつでもお声がけください。多くの皆様とのご縁をいただきますことを楽しみにしております。



新館長 藤野 匡宏

退任のごあいさつ

本年3月末をもちまして、退任することになりました。

昨年の4月から1年間、お世話になりました。在任中は、皆様のご指導ご鞭撻をいただき感謝申し上げます。隣保館を利用されている方々や地域の皆様との温かい交流を通して、大変多くのことを学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

退任後も、ここで出会った多くの「人とのつながり」を大切に、地域コミュニティづくりに尽力したいと考えています。

ご支援いただいた皆様に厚くお礼申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念し、退任のご挨拶とさせていただきます。

穴井 昌博

お知らせ

隣保館人権学習会を開催します

- 日時：2022年5月18日(水) 19:00～
- 場所：九重町隣保館 2階 展示室
- テーマ：性的少数者をめぐる人権について
- 講師：匹田久美子さん（大分県人権問題研修講師）



◇これからの行事◇

【月・木は人権相談日】

月 日	行 事 名
4月19日(火)	歌声サロン
4月21日(木)	ハッスルシルバース(コスモス会)
4月28日(木)	ハッスルシルバース(12期)



月 日	行 事 名
5月2日(月)	編み物教室
5月6日(金)	生け花教室
5月10日(火)	パワーアップ教室 ※第2週の開催です。
5月11日(水)	ハッスルシルバース(つばき会) ※第2週の開催です。
5月12日(木)	飯田ふれあいサロン
5月16日(月)	編み物教室
5月18日(水)	隣保館人権学習会
5月19日(木)	ハッスルシルバース(コスモス会)